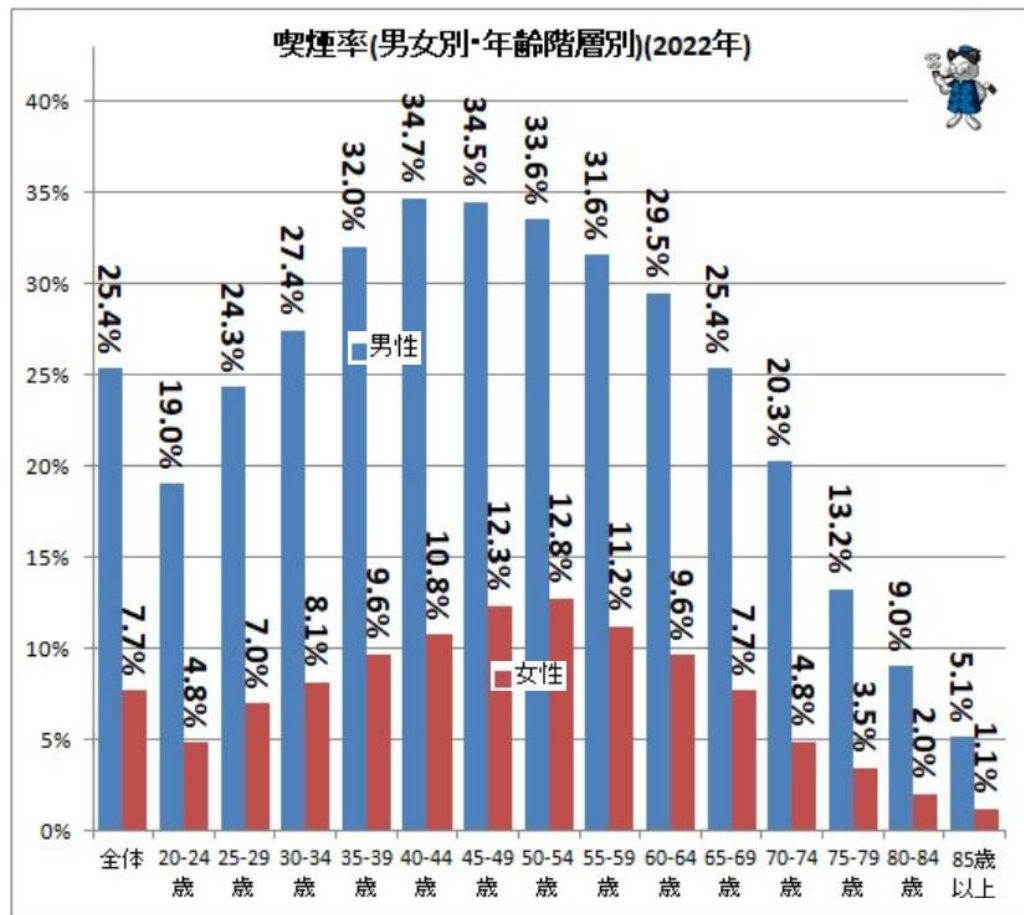


週刊 **タバコの正体**

下のグラフは、厚生労働省が2023年7月に発表した「国民生活基礎調査の概況」をもとに作成された男女別・年齢別の喫煙率を表しています。

35歳～59歳の喫煙率が高く、若い人や高齢者は低くなっています。特に20歳～24歳は低くなっているのは、この世代の若者は成人する前にタバコの有害性や喫煙する事のデメリットなどを見聞する機会が多く、タバコを吸い始めようとしなかったからだと思います。対して35歳以上の人たちは、



YAHOO! ニュースから

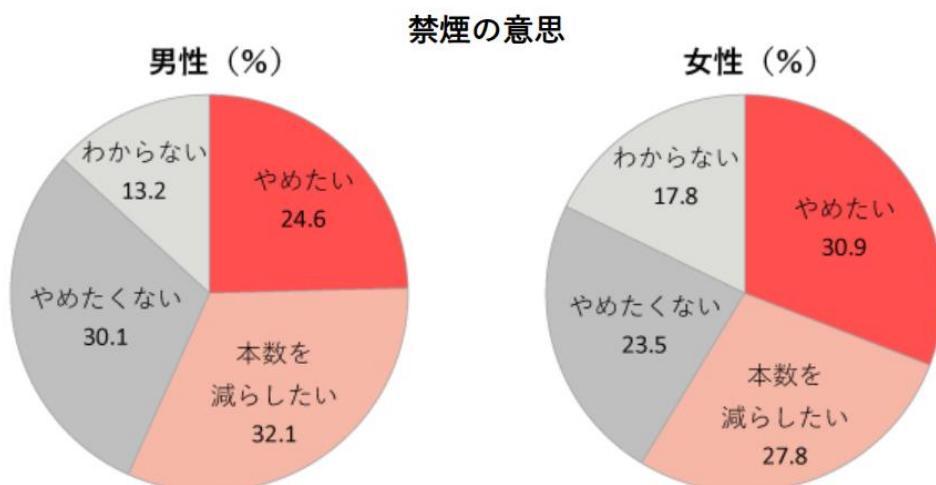
そのような知識を得る機会がほとんどないまま、興味本位やなんとなく吸い始めてしまった人が多かったのだと思います。

では、高齢者の喫煙率が低いのはどうしてでしょうか。単純にタバコを吸うのを止めた人がいるという事なので、結果的に高齢になると禁煙する傾向だと言えます。

そこで、左の円グラフを見てください。別の調査で、喫煙者のなかには日頃から禁煙したいと考えている人が20～30%もいるそうです。

いずれ禁煙するのなら、吸い始めるのはやめておきましょう。

産業デザイン科
奥田 恭久



厚生労働省ウェブサイト、令和元年国民健康・栄養調査報告；2020年、より作成

がん情報サービスHP「たばこ と がん」サイトから